



新作
です!

スイミー

大きな魚から一匹だけ逃げのびた小さな魚スイミー。悲しみの中、旅に出たスイミーは、さまざまなものに出会い、元気を取り戻し…。

長く読まれ続ける「スイミー」を人形劇に。新作公演です。ご期待ください。

原作/レオ・レオニ 訳/谷川俊太郎(好社社刊) 脚色/長瀬円美
演出/岡本和彦 美術/阿部銀子 音楽・効果/吉川安志 照明/阿部千賀子



「スイミー」舞台化を 演出 岡本和彦

作者レオ・レオニは、絵本「あおくとぎいろちゃん」「フレデリック〜ちよつとかわたたのねずみのはなし〜」などで知られていますが、この「スイミー〜ちいさなかしこいさかなのはなし〜」も他の作品同様に、豊かな色や技法で、世界を美しく表現しています。アートの世界では「スイミー技法」と呼ばれるようで、板の上の絵の具に紙を乗せて刷り出す技法が用いられ、二度と同じものが出来ない、偶然の重なり合いからできているのです。その美しさにどこか深い意味合いがあるような世界です。

『スイミー』は小学校の教科書に登場する反面、とても深い主題を持った社会的な映画にも登場します。その中身はなかなか一筋縄ではいかないのかもしれませんが、しかし、保育園、幼稚園の発表会や音楽劇などでとても親しみ深く上演されていて、入り口は大きく、中に入ると、とても深く広がりがあに違ひありません。

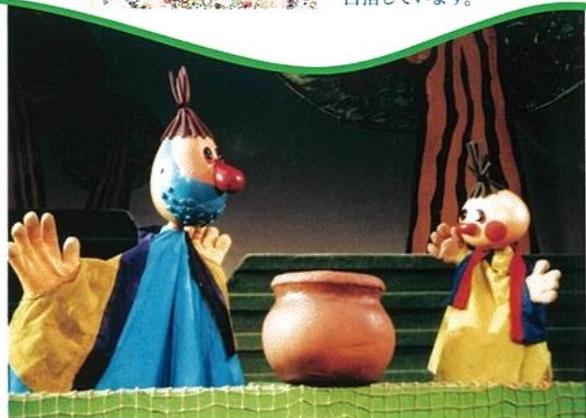
今、私たちはその舞台化に取り組んでいます。若々しい脚本家と美術家を先頭に、ベテランたちも加わって、ワンチームの精神で力強い舞台を目指しています。



ヤン助と ヤン助とヤン助と

作/永井鱗太郎
演出プラン/宗方真人
演出/岸本真理子
美術/星野 毅
音楽/長沢勝俊
照明/阿部千賀子
音響効果/小玉令子

きこりのごんさんは、今日も山の中で木を切っています。
そこへ猟師に追われたキツネが逃げ込んできました。
「助けてもらったお礼に」とキツネからもらった壺は、ふしぎな壺
だったのです。



どなたでもご参加ください。もちろん、大人も大歓迎！
場所をゆずりあって楽しく観劇しましょう。
上ばき、靴を入れる袋、お子さんは座布団もお持ちください。
駐車場が狭いので、できるだけ乗り合わせておいでください。